

市の将来都市像  
多摩丘陵にはばたく  
市民文化都市

第1371号

## 町田市基本構想(案)基本計画(骨格案) をお知らせします

### 広く市民の皆さんからのご意見を募集します

市では、2004年度からの新たな基本構想・基本計画を策定するため、2002年10月に学識経験者、市民等で構成する「町田市長期計画審議会」(委員長 荒木重雄桜美林大学国際学部教授)を設置し、検討を重ねてきました。  
このたび、広く市民の皆さんからご意見をいただき計画に反映していくため、検討中の内容を基本構想(案)及び基本計画(骨格案)として取りまとめましたので、その概要をお知らせいたします。  
市民の皆さんからいただいたご意見を踏まえ、長期計画審議会では本年中に基本構想の答申を行う予定です。また、基本計画については、骨格案に對したご意見を踏まえ、基本計画(案)を作成し、本年中に再度公表する予定です。

問 政策審議会室 ☎724・2503

#### 策定の目的と役割

これからの都市経営には、地域主権・地方主権の視点から、主体的に地域の社会像を描き、状況の変化に対応しながら責任を持ってその実現を図っていくことが求められます。

そのため、この基本構想・基本計画の策定によって、達成すべき都市像を市民や行政などまちづくりの主体が共有できるよう明らかにし、その上で効果をたしかめながら行政施策を柔軟に展開できるようにします。

#### 計画の枠組み

##### 1. 計画の位置づけと関係

基本構想・基本計画は、総合的見地から町田市の中・長期的政策の方向を戦略的に示すものです。各部門では、部門における施策の展開方向と内容を示す部門計画を、町田市基本計画の目標及び指標を踏まえて策定します。指標に基づき施策の評価により部門計画の見直しを行います。

##### 2. 計画期間

基本構想10年、基本計画10年とします。

#### 町田市基本構想(案)

町田市基本構想は、総合的な視点から基本理念と都市像及び経営像を掲げ、新たな時代のまちづくりの方向づけをするものであり、町田市が自主・自律を基本とする都市経営を進めるための基本的な指針となるものです。

##### 【基本理念】

町田市の都市イメージ、「多摩丘陵にはばたく市民文化都市」を引き継ぎ、誰もが、安心して住める活気と魅力あるまちの実現を目指し、基本理念を以下のとおりとします。

##### まちづくりの理念

様々な活動への参加を通じ、充実した人生が実現できるまちを目指す。

##### 町田らしさと豊かな生活が実感できるまちを目指す

行政経営の理念  
市民の信頼を得られる、将来を見据えた柔軟で効率的な経営を目指す

#### 【都市像】

これからの町田市が目指していくべきまちの姿を3つの都市像として掲げます。

##### 1. 人と地域が主体のまち

まちの主役である様々な世代の人々が、地域で、共通のテーマで、そして行政・民間の違いや都市の境を越えて、交流し、連携し、協働できるまちを目指します。

##### 2. 人が集まり、豊かに暮らせる魅力あるまち

多くの人が集まり、何か新しいものがみつかるまち。でもゆつたりと暮らせるまち。豊かに健やかに暮らせるまち。そんなまちを目指します。

##### 3. 活躍する人が育つまち

新しい時代に向け、いろいろな世代が学び、それぞれが持つ個性を、地域で、社会で発揮できる人が育つまちを目指します。

#### 【経営像】

これからの町田市が目指していく経営の姿を3つの経営像として掲げます。

##### ある経営

1. 優先度が明らかでメリハリの

都市像や基本目標を達成するために、限られた行政資源を重点的に投入し、最も効果があがる経営を目指します。

##### 2. 市民満足度が高い経営

創意工夫により、サービスの質を向上させ、より高い市民満足度が得られる経営を目指します。

##### 3. 市民に成果が見える経営

「市民生活にどのような成果をもたらすか」が明らかであり、税金の使途や受益者の負担が適正か、最小の費用で最大の効果があがっているかが市民にわかる経営を目指します。

#### 町田市基本計画(骨格案)

町田市基本計画は、町田市基本構想に掲げた都市像の実現に向け、政策の柱を3つの基本目標として設定し、これを達成するための重点目標、個別目標及び成果指標を示すものです。これに従って部門ごとに計画を策定し、施策を展開していきます。

また、新しいコミュニティは多くの可能性を秘めています。コミュニティが自立・発展していくためには活躍する機会を確保することが大切です。そこで、

《目標達成の視点》都市型コミュニティの確立、公民連携  
《重点目標》地域の視点から、様々な行政課題を解決できる仕組みをつくる  
《目標達成の視点》地域の自立、地域連携、公民連携  
(2面へつづく)

設定となっています。これらについては、本年中に公表する予定の基本計画(案)において設定します。

##### 基本目標1

つながりが広がるまちをつくる  
これからは元気な高齢者を中心として人が地域に戻り、地域をベラスとした生活をしていくことが予測されます。人と人とのつながりを生活の基盤である地域を基本に、地域主権を確立します。

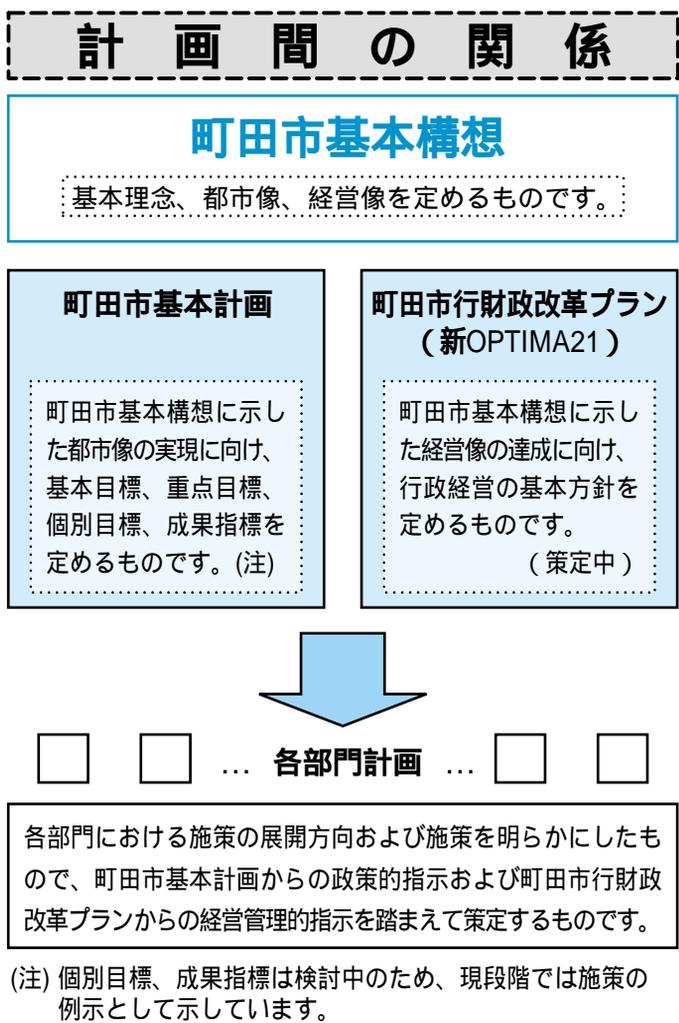
##### 重点目標

個人の自立と選択に基づき、都市型の地域コミュニティを創出する  
市民の自発性と相互の尊重に基づく、地域における新たな人々のつながりとして、選択可能で多様なコミュニティが育っている状態をつくる。

とが大切です。そこで、コミュニティビジネスの創成を支援し、新しいコミュニティがこれまでの企業や行政に加わって、経済社会の担い手となる社会をつくりたい。さらに、生活者が自らの求めるサービスを、NPO・企業・行政を意識せずに行き届ける社会をつくりたい。

##### 重点目標

個人の自立と選択に基づき、都市型の地域コミュニティを創出する  
市民の自発性と相互の尊重に基づく、地域における新たな人々のつながりとして、選択可能で多様なコミュニティが育っている状態をつくる。



#### 計画間の関係

#### 町田市基本構想

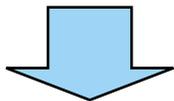
基本理念、都市像、経営像を定めるものです。

#### 町田市基本計画

町田市基本構想に示した都市像の実現に向け、基本目標、重点目標、個別目標、成果指標を定めるものです。(注)

#### 町田市行財政改革プラン(新OPTIMA21)

町田市基本構想に示した経営像の達成に向け、行政経営の基本方針を定めるものです。(策定中)



#### 各部門計画

各部門における施策の展開方向および施策を明らかにしたもので、町田市基本計画からの政策的指示および町田市行財政改革プランからの経営管理的指示を踏まえて策定するものです。

(注) 個別目標、成果指標は検討中のため、現段階では施策の例示として示しています。